


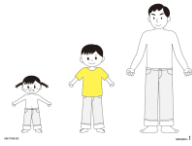

2歳児クラス 4月 第1回 「ティッチ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:「こんにちは」と絵本の表紙を見せながら登場し講師に渡す。 講: 会話を通して名前(ティッチ)や兄弟がいることなどを紹介。「今日はティッチ、ちょっと嬉しいことがあったんだって『何が嬉しいか』はお話読んだら解るって」とお話を期待を持たせてスタートさせる。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①登場人物を通して大中小の比較を楽しむ。 ②絵本に出てくる道具の名称を確認しながら読み進める。 ③最後は、大きな木になった時のティッチの誇らしい気持ちが感じられる様に読み終える。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を持って登場する 	

がくしゅうタイム

活動①	比較①	大小を比較して、大きさの違いを理解しようとする	
設問	それぞれの身体の大きさに合った洋服を選んで着せてあげましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講:「小さい種も最後は大きくなってティッチも良かったね」 ・保:「これ誰のかしら?」と2種の提示用洋服カードを意欲ロープに付けて提示。(エプロンなどでお母さんに変身しても良い) 	教材	<ul style="list-style-type: none"> P1プリント P1用大小の洋服(両面テープ付) 提示用プリント 提示用洋服 意欲ロープ(エプロン) 皿(テープゴミ用)
	<ul style="list-style-type: none"> ・講: 洋服を受け取り、大小重ねるなどして大きさを比較「先生のかな? 小ざ過ぎるね。誰のかな?」 ・保:「まだまだあるよ。皆も大きさ比べてみよう」と洋服カード配布。 ・子: カードを並べたり、重ねたりして大きさを比較。「大きい」「小さい」を確認する。 ・保: タイミングを見て「ハクション! 寒いよー。私たちの洋服知りませんかー」と提示用プリント提示。 ・講:「あら大変。風邪引いちゃうね。この洋服? 着れるか試してみようか?」と大きさを比較しながら確認。「ピタンコ」と両面テープを剥がして貼る。(テープのゴミは皿の中) ※比較しながら「大き過ぎる」「小さ過ぎる」など間違え行動も行う。「ぴったりの洋服見つかって良かったね! でもみんなの洋服は誰のかな?」 ・保:「ハクション!」と配布プリント提示。 ・講:「洋服欲しい人がこんなにたくさん…みんなも洋服のピタンコできるかな?」と配布。 ・子: 見本同様大きさを比較しながら大小カードを貼っていく。 ※この時期の子は提示の間違え行動も真似ながら大小を確認していきます。大小逆に貼る子には「目が隠れて見えないね」「小さくて寒そう」などと声を掛けながら見守ることも大切です。 ・講: 全員貼り終わったら称賛。「みんなにありがとうだって、良かったね。またね…」とプリントを回収して次に進む。 	保育士の役割	
活動②	比較②	タイヤがないことに気づき、自転車に合う大きさのタイヤを選んで貼ろうとする	
設問	自転車に合う大きさのタイヤを選んで自転車を直しましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保「チリン♪チリン」と楽しげに提示用自転車(完成品)を見せながら登場。(講師用に未完成のものを完成品に重ねるようにして1枚持つ。) 	教材	<ul style="list-style-type: none"> P2プリント P2用大タイヤ1人1枚※小はダミー用として1園5枚(両面テープ付) 提示用プリント&タイヤカード ※提示用に完成させて準備する
	<ul style="list-style-type: none"> ・保:「私の自転車、素敵でしょ!これからサイクリング行くんだ。一緒に行こう」 ・講:「いいなー!でも自転車持ってないんだー」 ・保:「大丈夫!貸してあげるから」とタイヤのついていない自転車を渡す。 ・講:「ありがとう!ではちょっとサイクリング行って来まーす!」と嬉しそうに保育士先頭で走り出すが「ガガッ!走れない…」とオーバーに演出。2回繰り返す 		

<p>返す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講：保育士の自転車（完成品）と講師の自転車（未完成）を並べて提示。「どこが違う？何か足りないね」としっかりと違いを見せる（2つを比べて「違う」「タイヤがない」ことに気づかせることがポイント） 「タイヤはいち・に…2個ないと走れないね。こっちは？いち…1つ足りないね。どこかにないかな」 保：「大変！こんなところに落ちてた」と大小のタイヤを提示。「大きいタイヤと小さいタイヤ。どっちかな？」と問い掛ける。 講：大きさを比較し、大きい方が同じであることを子ども達と一緒に確認。ぴったりの大きさのタイヤを選び自転車を完成させる見本行動を見せ、再びサイクリングに出発。楽しげに机の周りを一周する。 「一緒に行きたい人ー！」と子ども達の意欲を高め、子ども達の活動へと進行する。 保：プリント配布。 講：「みんなの自転車は大丈夫？走れるかな？」とタイヤの有無を確認する。 子：プリントを受け取りタイヤが1つ無いことを、指さし確認する。 講保：大小タイヤを持って「どっちがピツタンコ？」と個々にタイヤを選ばせて配布する。 子：大きさを比較してタイヤを受け取り、自転車を完成させる。 （テープのゴミは皿の中） 講：完成を確認し、子ども達と一緒に「出発進行！」を唱え、自転車を持ってサイクリングに出発する。机の上または可能であれば安全に配慮しながら室内を動く。 ※♪エレピで盛り上げるとなお良い。 「自転車が直って良かったね」と称賛。「自転車は車庫に入れておこうね！」と無理なくプリントを回収し活動を終了する。 	皿（テープゴミ用）
	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント提示 講師と一緒にサイクリング タイヤ提示 プリント配布 タイヤ大小比較して配布 ゴミ用皿配備、回収 安全への配慮 エレピ演奏 プリント回収

※数チャレは5月よりスタートします。

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	ティッチに興味を持たせるように読むことが出来たか
活動①比較	「中くらい」に興味を持たせるように大小の比較が出来たか
活動②比較	「自転車に合った大きさ」を意識して、タイヤを比較させることが出来たか 出来上がった自転車を本物に見立て、子ども達と楽しく動かすことが出来たか
数チャレ	4月実施なし

楽習タイム♪

*** テーマ ・ 比較 ***

くらべっこ遊び

1. 比べるものは二つ又は三つ
2. 比べるのは同じ種類のもの
3. 並べて（揃えて）比べる
4. 特に子どもにとって魅力あるもので比べてみましょう。
(例)Tシャツや靴、手や足、大好きなおやつの大きさや数等

どっちが大きい？



どっちが小さい？



遊びを通して比較のことは伝えていきましょう。(例)大きい・小さい、長い・短い、多い・少ない、高い・低い等



楽習タイムの動画はこちら

